

学生の皆さんへ

学修における生成 AI（ChatGPT 等）の使用について

学長

昨今、ChatGPT に代表される生成 AI（人工知能）が注目されており、今後社会のさまざまな分野で活用されることが予想されます。

生成 AI は、機械学習技術を用いて自然言語処理や画像処理を行い、文章や画像、音声などを自動生成することができるシステムです。ChatGPT は自然言語処理を行うツールの一つで、ユーザーが文章を入力すると、それに対する回答を AI が自動生成します。

これらのツールは無料で提供されているものが多く、手軽に利用できるため、学生の皆さんの中にもすでに利用している人が多いと思われます。しかし、利用にあたっては注意すべき点がいくつかあり、特に教育において懸念される問題もあります。そこで、本学での学修における生成 AI の使用にあたっては、以下のことに注意してください。

1. 学生が自分自身で学習する際の補助ツールとして生成 AI を利用する場合は、一般的な注意事項に留意して、自己責任で使用してください。

生成 AI の利用にあたっては、一般的に次のような注意点が挙げられます。

(1) 情報に誤りや偏見が含まれる場合がある。

—したがって、AI の情報を鵜呑みにしないよう心がける必要があります。

(2) AI に入力した情報は AI が学習してしまうため、機密情報や個人情報が流出するリスクがある。

—機密情報や個人情報は入力しないように注意してください。

(3) 回答の情報源が明らかでないため、著作権侵害や剽窃等の問題が生じる場合がある。

—著作権保護された文章や画像を AI に入力しないように注意するとともに、AI の生成物を公開することには慎重になる必要があります。

2. テストの答案やレポート・論文など成績評価に関わる提出物に、生成 AI の生成物を使用することは、適切ではありません。（ただし担当教員が許可した場合は除く）

テストは、あなた自身の知識や思考力を確かめるためのものですから、AI に解答させたのでは意味がありません。

またレポートや論文は、学生が自分自身で情報を集め、考え、文章を書くことを想定して出題されるものです。それを通して、物事の理解を深め、思考力や文章表現力を高める

などの、教育的な目的があります。ところが、もしあなたが自分で情報を集めたり文章を書いたりせずに、AI が出力した文章を転載してレポートを仕上げてしまったら、理解度や思考力、文章表現力を高めることができません。また、上の注意点(3)に挙げた著作権侵害や剽窃等の問題もあります。したがって、レポート・論文などで AI を利用する際は、あくまでも補助的な使用にとどめ、課題の趣旨に反する使い方はしないでください。

3. その他、各科目での生成 AI の使用については、担当教員の指示に従ってください。

※生成 AI をめぐる状況は変化しつつあり、その取り扱いについては必要に応じて見直す必要があります。今後、方針の変更等があれば、あらためて告知します。